

科目	身体障害作業療法学 I	担当	飯塚 照史	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

整形外科疾患に対する基礎知識と一般的な作業療法についての理解を目標とする。基礎知識においては、運動器の機能解剖を基にした拘縮分類、評価手順の理解を到達目標とする。これを基に各論では、その病態に応じた作業療法の展開について理解を深め、さらに、健康維持を目的とした運動療法の基礎知識、評価方法の理解を通じて、整形外科的観点からの地域貢献についても理解を深める。

【履修注意】

解剖学・生理学・運動学・整形外科学などの知識が基礎となる科目である。授業内においても、定期的に小テストを実施し、予習・復習の状況を確認する。なお、予定変更の場合がある。

【評価方法】

中間試験、期末試験、出席状況を総合して評価する。
講義回数数の2/3以上の出席に満たない者は評定対象から除外する。

【試験について】

再試験対象者の条件：期末試験40点以上60点未満の者（教科書・資料など持ち込み不可）
※本試験（筆記）にて40点未満の者は評定対象から除外する。

【予習・復習】

上記「履修注意」を良く読み、予習・復習を心がけること。

【教科書】

書籍名：作業療法学全書改訂第3版 第4巻 作業治療学1 身体障害 協同医書出版

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	手の機能解剖1	手・機能解剖
2	手の機能解剖2	拘縮・分類・評価
3	骨折1	上肢骨折・病態・治療
4	骨折2	上肢骨折・作業療法（橈骨遠位端骨折を中心に）
5	腱損傷	腱損傷・病態・治療・作業療法
6	末梢神経損傷1	末梢神経損傷・病態・治療
7	末梢神経損傷2	末梢神経損傷・作業療法
8	中間まとめ	前半の復習・確認・まとめ
9	下肢の骨折1	大腿骨頸部骨折・人工関節に関する基礎知識
10	下肢の骨折2	大腿骨頸部骨折・人工関節・理学療法
11	下肢の骨折3	大腿骨頸部骨折・人工関節・作業療法
12	関節リウマチ	関節リウマチ・病態・治療・作業療法
13	頸髄損傷1	頸髄損傷・病態・治療
14	頸髄損傷2	頸髄損傷・作業療法
15	高齢者に対する運動療法	高齢者に対する運動療法の基礎知識・評価・処方
16	期末試験	まとめ・復習・確認